

# アンケート調査結果概要

## アンケート回答者全員対象の項目

### 1. 回答者の属性

#### (1) 年齢について

40代の回答者が最も多く、30代から50代で70%を占めます。また、10代の回答者が最も少なく、10代と20代で10%となっています。

#### (2) 性別について

女性は9%と非常に少なく、ほとんどの回答者が男性です。

#### (3) 職業について

会社員が最も多く約半数を占めます。次いで自営業が18%、公務員が10%、農林水産業が4%となっています。

#### (4) 居住地について

北海道・東北地方では、北海道が最も多く、次いで宮城県となっており双方で69%を占めます。

関東地方では、神奈川県が最も多く、次いで東京都となっており双方で68%を占めます。

甲信越地方では、新潟県が最も多く半数以上を占めます。

北陸地方では、富山県が最も多く、次いで石川県となっており双方で79%を占めます。

中部地方では、愛知県が最も多く、次いで静岡県となっており双方で74%を占めます。

近畿地方では、大阪府が最も多く、次いで兵庫県となっており双方で66%を占めます。

中国地方では、広島県が最も多く、次いで山口県、岡山県となっており3県で98%を占めます。また、鳥取県と島根県で2%に過ぎません。

四国地方では、愛媛県が最も多く半数以上を占めます。

九州・沖縄地方では、福岡県が最も多く、次いで熊本県、鹿児島県となっており3県で65%を占めます。

以上のことから各地域とも回答者の多い都道府県が限定されています。

### 2. マリンレジャー全般

#### Q1. 乗ってみたい船は？

3人に1人が釣り用ボート、4人に1人がクルージング用ボートです。

#### Q2. 船でやってみたいことは？

2人に1人が釣り、4人に1人がクルージングです。

#### Q3. その時使う船は？

モーターボートが83%と大半を占めています。

#### Q4. 一緒に楽しみたい人は？

家族(夫婦を含む。)が最も多く、次いで友人(恋人を含む。)となっています。また、双方で90%を占めています。

#### Q5. 遊ぶ場所は？

半数以上が「海岸の見える範囲」です。

#### Q6. マリンレジャーを身近にするために必要なことは？

「諸費用がもっと安くなればよい」が約40%、「入りやすい雰囲気のマリーナ」が約25%となっています。

### 3. マリーナ

#### Q7. 利用経験は？

利用経験のある人は、約40%であり、そのうち約70%の人がたまにしか利用しません。

#### Q8. マリーナの利用目的は？

船に乗るために利用する人が約70%を占め、それ以外の目的としては、食事が最も多くなっています。

#### Q9. 利用したいマリーナの要件は？

主なものとして、「安い費用で遊べる」が40%、「入りやすい雰囲気がある」が25%です。

### 4. ボート免許

#### Q10. 免許の取得意志は？

回答者のうち、免許をもっていない人は「是非取りたい」という人が50%、「取りたいが機会がない」と人が20%となっており、約7割の人が免許を取りたいと考えています。

#### Q11. 免許制度は？

「今のままでよい」という人が72%と大半を占め、「免許制度は要らない」という人は2%に過ぎません。

また、その他の意見として「ボートと水上オートバイの両方乗れる免許が必要」が9%、「もっと大きな船に乗れる免許が必要」が8%、「小さな船だけ乗れる簡単な免許が必要」が5%、「近場だけ乗れる簡単な免許が必要」が4%となっています。

#### . アンケート回答者のうち免許取得者対象の項目

##### 1. 全般

#### Q12. 取得免許の種類は？

二級が60%と最も多く、次いで一級23%、特殊小型10%、その他(二級湖川等)が17%となっています。

#### Q13. 免許の取得目的は？

レジャーが74%で主な目的は、「釣り」が45%、「クルージング(セーリングを含む)」が23%、「水上オートバイ」が17%に大別されます。

仕事が26%で主な仕事は、「漁業」が43%、「警察・消防」が20%、「港湾事業」が18%、「遊漁船業」が13%に大別されます。

#### Q14. 船の所有は？

免許取得者のうち32%が船の所有者です。所有していない人のうち、60%の人がいずれ所有したいと考えています。

#### Q15. 所有している、または所有したい船は？

主な船は、「フィッシングボート」が39%、「クルーザー・セーリングヨット等クルージング用の船」が22%、「水上オートバイ(シッティングタイプ)」が13%、「ミニボート」が6%に大別されます。

#### Q16. 船の購入に際し負担可能金額は？

「50万円未満」が32%と最も多く、「300万円未満まで」で87%を占めています。

#### Q17. 必要な情報は？

主な必要情報は、「気象・海象情報」が40%、「給油・係留棧橋等施設情報」が26%、「マリンレジャーの楽しみ方」が18%に大別されます。

## 2. レンタルボート

### Q18. レンタルボートの認知度は？

レンタルボートを知っている人は74%と認知度は高いが、そのうち74%の人が使ったことがありません。

### Q19. レンタル時間は？

レンタルしたい時間は「1日」が51%、「半日」が38%となっています。この2つで大半を占めています。

### Q20. レンタル料金は？

希望するレンタル料金は「1万円以内」が45%と最も多く、残りは「五千円以内」、「一万五千円以内」、「二万円以内」に3等分されます。また、「2万円以上」という人は、3%に過ぎません。

### Q21. レンタルしたい船は？

「釣り用ボート」が38%、「クルージング用ボート」が24%、「豪華なモーターボート」が11%、「水上オートバイ」が9%と4つに分類されます。

## 3. ミニボート

### Q22. ミニボートの認知度は？

45%の人がミニボートを知っています。

### Q23. ミニボートの安全のために必要な事項は？

「安全講習会が必要」が36%、「免許が必要」が34%と知識や技能の習得を必要という回答が7割を占めています。逆に「船を大きくする」が8%、「検査が必要」が7%と低くなっています。

## 4. 海の駅

### Q24. 海の駅の認知度は？

82%の人が海の駅を知りません。

### Q25. 要望事項は？

「海の駅の施設情報や周辺情報の提供」が71%と大半を占めています。

## 5. その他

### Q26. ご意見は？

(1) アンケート項目の最後「ご意見」欄について

アンケート結果をキーワードにより「要望事項」、「改善事項」、「発展要素」、「問題事項」及び「その他」の5つのカテゴリーに分類した場合、「要望事項」が43%、「改善事項」が24%、「発展要素」が15%、「問題事項」が8%及び「その他」が10%となっています。また、「要望事項」、「改善事項」及び「発展要素」は相関関係にあり、回答者のニーズに応えることが発展につながることであります。

1) カテゴリーの分類に使用したキーワード

要望事項: 「ほしい」、「もらいたい」、「するとよい」、「すべき」、「したい」等

改善事項: 「高い」、「安く」、「緩和」、「厳しく」、「廃止」、「少ない」、「マナー」等

発展要素: 「利用」、「充実」、「必要」、「増える」、「楽しい」、「うれしい」等

問題事項: 「悪い」、「危険」、「ひどい」等

その他: 上記 から のカテゴリー以外

2) 分析方法

テキストマイニング法: 記述されたアンケート結果を上記1)のキーワードによりカテゴリーに分類したうえで関連する別のキーワードを定量的に抽出し、分析しています。

## (2)主な意見

### 1)要望事項

「増やす」:係留施設、スロープ、給油施設、気軽に入れる海の駅のような公共マリーナ、駐車場、水上オートバイ用ゲレンデ、更新講習の開催数

「提供する」:情報(係留施設、海の駅、レンタルボート、スロープ、体験乗船会、免許更新時期の案内)

「気軽に利用できるようにする」:漁港、港、スロープ、海ほたる

「無料にする」:係留施設、スロープ、海の駅への立ち寄り、ガソリン税

「強化する」:取り締まり(ミニボート、不法係留、水上オートバイ)、処分

「開催する」:講習会(ペーパードライバー実技講習、ミニボート安全講習)

「長くする」:免許証の有効期間

「簡素化する」:免許の更新手続き、船舶検査

「短くする」:更新講習時間

「早くする」:免許証の発行(特に更新講習終了時に発行)

「拡大する」:二級免許の航行区域、二級湖川小出力の出力制限

「加える」:更新講習教本(マナー、マリン情報、救急時の対応)

「導入する」:更新講習に実技

### 2)主な改善事項

「高い」:諸費用(保管料、レンタル料金、免許更新費用、船の購入費、検査費用、免許取得費用、トレーラーの税金)

「安く」:上記と同様

「少ない」:係留施設、スロープ、更新講習、給油施設

「厳しく」:マナー、免許制度

「マナー」:水上オートバイ、ミニボート、水上スキー、ウェークボード、漁船

### 3)主な発展要素

「充実」:マリーナ、スロープ、係留施設、情報(マリーナ、海のコース)、レンタルボート、保険、海の駅

「必要」:休憩施設(シャワー、風呂)、安価な係留施設、費用負担の軽減、情報(発信するシステム、安価な中古艇情報、公開(更新手数料の明細)、宿泊施設のある海の駅)、マナーの向上、免許、安全講習会、ミニボートに免許、ダイビング用レンタルボート、レンタル年会費の無料化、漁業関係者の取り締まり、漁業権の周知、船の修理・手入れのできるマリーナ

「楽しむ」:体験乗船、安全が確保できたら

「普及」:マリンVHF

「便利」:入港先から陸上における利便性の向上、更新講習の開催地の増加

「行ってみたい」:ショッピングモールのあるマリーナ

### 4)問題要素

「利用できない」:漁港

「危険」:ミニボート、水上オートバイ

「強すぎる」:漁業関係者の利権

「多すぎる」:水上オートバイに対する制限

「ひどい」:ゴミの後片付け

### 5)その他

「体験乗船」:お礼

「更新講習」:感想

「アンケート」:内容に関する質問や感想